

第7回大山崎町上下水道事業審議会 会議録

日 時：令和7年10月17日（金） 15時00分～17時15分

会 場：大山崎町役場 3階中会議室

出席者：委員7名（オンライン出席者1名）

西谷委員・佐藤委員・清水委員・藤原委員・細井委員・佐々谷委員、吉川委員

事務局（環境事業部長・上下水道課長・業務・府営水道係リーダー・上水道係リーダー・業務・府営水道係）

傍聴者：なし、報道機関：なし

1. 開会（省略）

2. 議題

（1）水道事業会計・下水道事業会計の経営戦略案について

（2）上下水道事業審議会の答申案について

各議題について、事務局から説明後の議事は以下のとおり。

発言者	内 容
事務局	水道事業会計・下水道事業会計の経営戦略案について（省略）
会長	はい、ありがとうございます。 ゴールである資料4-1、4-2の経営戦略についてですが、大きな柱は上下水道の料金改定を盛り込むことです。上水道は令和10年と14年、下水道は令和8年と11年に改定する案で、市民から見ると毎年のように値上がりする印象になる点が懸念されます。 もう一つの論点として、使用水量の約3倍とオーバースペックで、老朽化・浸水・未耐震化という課題を抱える浄水場を維持すべきかという話がありましたが、今回の経営戦略にはその見直しは書かれていないということになります。

事務局	後ほど答申案の話でも出てくる部分ではありますが、特に水道事業の浄水場等を含めた施設更新の方針につきましては、今回の審議会での経営戦略の中には含んでおりません。
会長	なので、経営戦略最後のページを見ていただきますと、令和17年度までの数字のシミュレーションが入っていますが、その中には耐震化も入っていないということでしょうか。
事務局	浄水場につきましては、管路や配水地等とは異なり、耐震化等の計画が入っておりません。維持管理費は財政計画にあるものの経営への影響は小さく、問題は建て替えの投資費用がかかるかどうかという部分です。今後建て替える場合、その時に莫大な費用がどんどん乗ってきて、その後の減価償却費もかかってくることが経営に与える影響が大きいいためです。
会長	そうです、減価償却がくるので、令和17年度までのところの収支のところにも結局影響は来るはずなんです。
事務局	おっしゃる通りです。建て替えた場合はもうすごい影響が出てくるのですが、今回の経営戦略案には含んでおりません。
会長	多分それがポイントになります、浄水場の問題はそれだけ大きいがゆえに、今回の経営戦略案ではとりあえず詳細に書かれていない、というのがポイントになります。これについては「入れるべきだ」というご意見も想定され、今後の答申案でも議論になると思いますが、現状はそのような状況です。 また、先に示された複数の料金改定パターンについても、経営戦略には細かくは入れていないということですね。
事務局	水道につきましては、先ほどご説明させていただきました中で、パターン3ですね、資産維持費を0.75%見込んだ形のものを採用したものが経営戦略の中身になっておりまして、下水につきましてはパターン2ですね、使用料改定をした場合の数値が使われております。です

	ので、経営戦略の中身ではそのパターンを複数示したというような形の書き方は現状しておりません。
会長	<p>上水と下水で資料の書き方に違いがあり、上水は他市比較や具体的な料金シミュレーションがないのに対し、下水は細かく記載され、やる気のある姿勢が垣間見えます。上水は令和 10 年の値上げということで、まだそこまで踏み込んでいないというご説明でした。</p> <p>繰り返しになりますが、経営戦略をゴールとした場合、最終的な論点は、上水道は令和 10 年・14 年、下水道は令和 8 年・11 年に値上げするという年度を明示した案でどうですか、という点です。</p> <p>つきましては、この値上げ案や資料の書きぶり、その他分かりにくくい点など、順番は問いませんので、何かご意見があればお聞かせいただけますでしょうか。</p>
副会長	水道の方の 4 ページの表の中の 5 番で、雨水 100% 受水整備事業というものがありますが、これは 50/50 の比率を変えるということですか。
事務局	これは、もし浄水場を廃止して雨水 100% 受水にする場合の仮のスケジュールを置いたものでして、どのようなスケジュール感で投資をしていけばいいかという内容が入っております。ただ、これに関しては削除する可能性があります。
会長	<p>浄水場の件では、本音では 3 倍もの水量は不要だと分かっているものの、それをいきなり議論することにかなり悩んでらっしゃるのがよくわかる感じです。</p> <p>そして繰り返しになりますが、町民目線で考えると、令和 8、10、11、14 年と 4 回も値上げする計画になっているというのは、頻度としてどうなのですか。</p>
事務局	おっしゃる通り、料金改定には政治的なハードルも高いと思います。実際に改定するとなれば、上下水道一体の料金としてタイミングをまとめて調整を図ったりする形になるはずです。

	現在の経営戦略案では、改定時期が互い違いになっており齟齬が出ておりますので、ご指摘を受けまして、経営戦略の段階である程度整合を図るよう検討させていただきたいと思います。
会長	<p>下水道が令和 8 年度改定というのは、もう待ったなしだということの表れですね。上水道と同時にやると議会が紛糾して実現できないかも知れないほど、下水道の状況は切迫していることの裏返しでもあります。また、令和 10 年度なら選挙後というような事情もあるのかもしれません。</p> <p>そこで、いつそのこと下水道 1 回、上水道 1 回の計 2 回にまとめるのはどうでしょうか。町民目線では 4 回の値上げよりはまだマシな気がしますが、皆さんの印象としてはいかがですか。</p>
委員	一気に上がる方が、もうね、諦めがつくというか。
委員	徐々に上がっていたら何回もまた上がって、と思いますね。
委員	なぜまとめてしないのかと思ってしまいます。
会長	町民の皆さんのことを考えて複数回に分けているのでしょうが、事務的な手続きも面倒になるので、毎年のように値上げするというのは、事務局も大変なんじゃないでしょうか。
事務局	こちらが大変という理由で料金改定しないということはないと考えていますが、ただ、実際に毎年のように改定するというのは、町民さんのことなどを考えても、難しい部分はもちろんあるかと思います。
会長	そうですよね。だから 4 回書いたとしても、もしかしたら絵に描いた餅になるので。それは。まあ、書きぶりどうするのか、そこもうちょっとぼかしてもいいかも知れないですね。

委員	2回ぐらいなら上がってももうしょうがないかなと思うけど、4回になるとちょっと、となりますね。
委員	毎回どのくらい金額を上げられるのかと、考えてしまいます。
会長	<p>料金改定を複数回に分けるのは激変緩和措置だとは思いますが、町民目線からすれば4回も値上げするより、2回で一気に改定する方が良いのではないか。 </p> <p>そもそも、上水道と下水道で上げる年度をずらすこと自体が激変緩和措置になっているはずです。ですから、それぞれ1回ずつに割り切り、待ったなしの下水道は令和8年度、上水道は2年待って令和10年度に実施し、それで一旦終わりとしてはどうかと思います。</p> <p>もちろん議会が紛糾すれば遅れるかもしれません、上水道も料金改定が待ったなしの状況です。これはあくまで戦略であり、最終的に決めるのは議会ですから、この方針で議会に投げるという感じかなと思うのですが、いかがですか。</p>
委員	まず、下水道が令和8年度に「待ったなし」である点はコンセンサスとして良いとして、その上で、現在の下水道、水道、下水道、水道という改定案を、令和8年度に下水道使用料を一気に上げてしまう、ということでおろしいでしょうか。
会長	令和8年度に30%で、令和11年度15%来ますよね。合わせると50%ぐらいですが。
委員	だから50%ぐらいを令和8年度で一気に改定を行うということになります。
会長	50%の値上げというのは、私が他の自治体の事例を見ている限りにおいては、そんなに無茶苦茶な数字ではなくて、200%改定というところもありますからね。

委員	前回の審議などでも申し上げたと思いますけど、パーセンテージではなく金額ベースになると、おそらく 50%、1.5 倍と言っても、意外と金額的にはそこまでではないのでは。
会長	ご家庭の使用量次第なのは当然ですが、月にならすと 1,000 円前後の増額という家庭が多いのでは、ないでしょうか。
委員	まず、この 10 年間の経営戦略の中で、上下水道としてトータルでこれぐらい上げなければいけないという額が先にあり、それを何回に分けるかという話なのかなと思います。そういった意味では、一度 50% の下水道使用料改定という高いボールを投げてしまうのも、一つの手かもしません。
会長	もう一つ、この経営戦略案の 10 年間で見通せない点があります。今回の値上げ案でも上水道の費用回収率は 100% に届きませんが、そもそも回収率 100% を超えない目標設定でいいのか、将来のインフレや少子高齢化が進んだ時に「あのときもっと値上げしておけばよかった」となる可能性があります。 町民目線からすれば、我々が小幅な改定率で悩むより「10 年間これぐらい必要なので、いくらだ」とはっきり言ってほしいかもしれません。料金改定が必要なのであれば、腹をくくってやるべきではないでしょうか。
事務局	資産維持費は今まで 0% で、今回初めて算定するにあたり、日本水道協会の標準 3% より抑えた率になっていますが、最近の物価高騰、特に水道関連の機械や工事費の高騰を考えると、これで大丈夫なのかなというところです。このままでは、またすぐに値上げの議論が必要になる可能性もあるところです。

会長	<p>常識的に考えて、今から 10 年の間に府の受水費が値上げされないと いうことはないですよね。ですから、話がまだ決まっていなくても、 府の値上げは織り込んだ方がいいと思います。</p> <p>何年も値上げをしていない自治体は、怖くてどうしても手控えがち になるのですが、それで後悔している自治体も多い感じがしますので、 そこをどうされるのかなと。どこまで踏み込んで議論すべきか難しい ですが、今日は忌憚のない意見をいただくということ、一般町民目線 で見て、皆さんはいかがですか。</p>
委員	<p>1 回のほうがいいと思いますが、状況が分かっていないので、なんで 2 回なのかなと。</p>
会長	<p>町民の方のことを使ってということだと思いますが。</p>
委員	<p>でも、町民は分からぬですよね。</p>
委員	<p>おそらく、このような場（審議会など）に来られて、こういうステ ップですよというものが分かれば、「仕方ないな」と思われるのでしょうか、一般の方はやっぱり知らないので、「また値上げか」、「また値上 げか」と思ってしまうのでは。</p>
委員	<p>そうなんですよ。</p>
委員	<p>「来年から上がります、再来年も上がります」と毎日のように言い 続けていれば「そんなもんか」と思われるかもしれません、その辺 の情報がないまま 1 年後にまた値上げの案内が来たら、「どういうこと だ」という思いになるかもしれません。だから、事前通知があるかな いかで全然違います。</p>
会長	<p>上下水道料金の辛いところで、電気料金などはさらっと上げますよ ね。</p>

	<p>年金生活をされている方にとっては、何百円の値上げもすごく重かったりしますので、現役世代と高齢世代ではやはり違います。これから少子高齢化がさらに進む中、行政や議員はいろんな世代を相手にしているため、そこら辺は激変緩和をしたいという気持ちの表れだということですよね。だからこそ、どこを優先するかという戦略が出てきて、いろんな意見はあると思います。</p>
委員	<p>一気にボーンと上がるよりは 2 段階（下水→水道）の方がまだマシかなと思います。下水道は、陥没してからではすごいお金がかかるでしょうから、早めにメンテナンスしてもらうためなら、料金がちょっと上がっても仕方ないかなと。他のところもすごく上がっていますよね。</p>
会長	<p>4 段階（下水→水道→下水→水道）よりは、2 段階（下水→水道）ですよね。</p>
委員	<p>2 段階です。4 段階にされたら負担がすごい、年金上がらないのに。</p>
会長	<p>町民の皆さん的には 2 段階が良いのかな、ということでしょうか。上げ幅については、経営戦略には書かないんですが、答申のところで、どのように表現するか・しないかということだと思います。</p>
委員	<p>経営戦略の内容で、料金改定のシミュレーションされた数字が出ていますが、料金表や改定率という形で直接は出さなくても、今のところ上げ幅が、経営戦略案の数字として入っているということですね。</p>
会長	<p>経営戦略案は、水道料金改定及び資産維持費 0.75%を想定したシミュレーションされているということですね。</p>
委員	<p>なので、今は、（水道料金改定を） 2 回に分けた形で料金改定の数字は入っているということですね。</p>

会長	現状では経営戦略案は、2回に分けた形でシュミレーションされているということですか？
事務局	はい。
会長	だから、明示的には何%上げるとは言ってないけども、結果的に入っているということですね。 ちなみに、2段階を1段階にしたら何%ぐらいの改定になりますか。
事務局	水道料金の改定については、将来的な有収水量の落ち込みなどを考えると、全体で20%～25%にはなるかと思います。 下水は、経費回収率100%達成するために、現状で50%必要ですので、30%改定、15%改定と計画上なっています。
会長	であれば、経営戦略上は1段階で50%値上げをしてしまい、町民目線を考えての2段階案というのは、議会で通らなかった場合に「結果として2段階になりました」ということで良いのではと思います。 議会としても、そもそも「(上下水合わせて)4回もやるのか」という話になると思います。
委員	これだけ財政的に厳しいということで、これだけ改定しないと経費回収率が、下水の場合は100%に近づかない。水道も100%を維持するためにはこれぐらい必要なのであれば、おそらく1回での値上げでも、きっちり「これだけ何%を上げとかないといけませんよ」と言う方が、すっきりするのかなと、私は思いました。
副会長	計画の段階で料金回収率・経費回収率が100%を下回っていると、物価高騰や議会での修正などによって、結果的にもっと下回ってしまうと思います。なので、お気持ちは分かりますが、理屈上はやはり100%を目指さないといけないし、100%の場合を示した方がいいのではないかなと思いました。

会長	資産維持費 0.75%の場合は、料金回収率は 90%ですよね。
事務局	<p>町としても、一気に料金改定を行った場合の影響を考えて、ちょっと踏み込みが足りないのかなと思わなくもないです。</p> <p>会長がおっしゃる通り、最終的に段階的な値上げになるのは、議会や町長の政治判断であり得る話なので、審議会や事務局が示す段階では「正しい形（早期に 100%を目指す）」を貫いた方がいいのではないか、というご指摘は最もだと思います。</p>
会長	<p>我々（審議会）は誰かに忖度する必要はなく、客観的な数字から「これぐらいは必要だよね」ということをお返しするのが役割です。決定権はないので、議論した結果をお返しするという形でいいのかな、という気もします。</p> <p>であれば、我々が提示する理想形は、上水なら資産維持費 1.5%が必要、下水なら 50%の改定が早期に必要、ということです。改定も最初から 2 回に分けて、それぞれ 1 回ずつ。下水を令和 8 年度、上水を令和 10 年度にすること自体が、そもそも激変緩和措置になっていると思います。</p> <p>長年値上げを躊躇されてきた町ですので、行政にとっても議会にとっても本当に久しぶりのチャレンジになるでしょう。だからこそ、最初から忖度した結果を示すより、「理想はここですよ」と我々がパシッと示しておくことが、審議会の見識を見せることになると思います。</p> <p>もし可能であれば、そういう形で一旦まとめていくという方向でいかがでしょうか。</p>
事務局	上下水道事業審議会の答申案について（省略）
副会長	<p>付帯意見（2）の浄水場のところですが、「取り得る選択肢は限られていることから」という記述は、私たちが聞けば分かりますが、普通に読むと分かりづらいので、どのような選択肢があるのかをもう少し書いた方がいいのではないかと思いました。</p> <p>また、パワーポイントでは建て替えは、困難という結論が出ていますが、文章に「廃止」という言葉が出てこないので、これでは「建て替</p>

	えられるのかな」と読む人がとらえてしまわなかと懸念します。判断の焦点は廃止するかどうかになるかと思いますので、問題が緊迫している状況がもう少し具体的に書かれてもいいのかなと思いました。
会長	有収水量に対して施設の能力が本当に余っている、という客観的な事実がありますよね。これはどう見ても施設能力が高すぎるということです。その上で、浄水場の建て替えがかなり難しくお金がかかるというのであれば、「廃止」という言葉を出して、それも含めて議論すべきではないでしょうか。
事務局	会長のご指摘の通りです。更新か廃止という2択になります。
会長	今の浄水場を騙し騙し使い続けることはできないわけですから、選択肢は「廃止」か「更新」かになります。しかし更新すれば莫大な金額がかかり、その水は3倍の施設能力からして本来余ってしまうものになってしまいます。 値上げをあまりされてこなかった経緯から、最終的に議会が決めるべきことを考慮しすぎなのかなと思いますが、我々が議会の議論をそこまで忖度する必要はないと思うんですね。もちろん町民感情もあるでしょうが、客観的に見て建て替えがかなり非合理的な選択であることは、もう間違いないわけです。
副会長	府営水の話も裁判で結果が出ていますので、もっとはっきりと「施設能力が高すぎる」、なんなら「3倍ある」と書いてもいいのかなという気がしますね。
	「更新（建替え）について、早急に結論出す必要がある」と書かれていると、一般の町民は「今すぐ更新するのか、もう少し維持管理しながら将来更新するのか」という選択だと捉えてしまう部分があると思うんです。そこに「廃止」という選択肢もあるということを知らせておいた方がいいような気がしました。

委員	<p>浄水場を更新するとなると、20 億円とか 30 億円とかいうレベルの大きな費用がかかるということです。しかも、数年後には建設コストがさらに上がり、20 億では絶対済まないレベルになるかもしれません。</p> <p>それともう一つ考えなければいけないのは、建て直すと 40 年、50 年とずっと運転し続けなければならず、そこにかかる人件費や修繕費といったランニングコストもかかり続けるという点です。強めの表現にするなら、この維持管理における人手とコストの問題がずっと続くということを書いてもいいのかな、という風に思いました。</p>
副会長	<p>配水池や管路など、絶対に更新しないといけない投資が今後も続くので、そちらが優先されるということも、ちょっと触れておいた方がいいのかなと思いました。</p> <p>今の状況は、要するに自己水を大切にしたいという町民の方の長年の深い思いがあつてのことだと思うんですね。ただ、浄水場をなくしたら府営水が 100%になるということを、皆さんにイメージできるのか、知らないうちになくなつたと思われるはどうなのでしょうか。</p>
会長	<p>浄水場を廃止する場合には、町民の「大山崎町の水」への思いを汲み取り、親水公園のような形で井戸を残すといった別途施策を立てるべき、という一文を入れてもいいかもしれませんね。</p> <p>さて、その話は一旦置いて、付帯意見の（1）と（3）、料金見直しについてですが、言葉の表現を修正すべきかと思います。上水道（1）は「将来的に避けられない」ではなく「早急に」、下水道（3）は「早急に」ではなく「喫緊に」としてはいかがでしょうか。令和 8 年度改定の下水はもう今からやらないといけない喫緊の課題だ、というわけです。</p> <p>そして両方とも急ぐ話ですが、激変緩和のために「上下で実施タイミングをずらすことが良い」と書き、下水が喫緊である理由として「国の補助金要件を満たせず、もらえなくなると建設も進められない」と具体的に書いた方が、この文書が一人歩きしても誤解がないと思います。</p> <p>また、下水道の改定率 50%がでているなら、上水道も 25%と両方とも数字を出すべきです。これにより、「上水は 25%、下水は 50%なんだな」</p>

	<p>と分かります。その上で、下水道の資料にある激変緩和の記述は、逃げ道になりかねないので不要ではないでしょうか。</p> <p>以上のように修正して、上下水道とも値上げの必要性が差し迫っていることを明確にしてはどうか、という気がするのですが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>答申内容に、今までの審議会資料などであった、他の市町村と比べた料金設定の状況などを掲載するはどうでしょうか？</p>
事務局	<p>検討させていただきます。</p>
委員	<p>他の市町村と比べた下水道使用料の今の料金設定では、更新が難しいというのが、一目瞭然となると思います。</p>
委員	<p>(1)の水道事業の料金見直しについて、「費用全体の約40%を占める、費用であり、過去の経緯から町民感情に配慮する必要がある一方で、この間結果的に乙訓地域に配慮した動きやこれからの施策などが議論されている経緯も鑑みて」というところが、ちょっと具体的に何を伝えたいのか非常に分かりにくいと思いましたが、いかがですか？</p>
会長	<p>受水費が大きい割合を占めるのは事実であり、ここ（受水費）を減らせたらいいのですが、減らせないから料金値上げにせざるを得ない、ということですか？</p>
事務局	<p>はい、その点に加えて料金改定や受水費は、町民感情に繋がるものですが、一方で受水費に関しましては、京都府の方で最近、単価の見直しや受水量の見直しのために自治体間を取りまとめるなど、相当なご努力をいただいているというのは、厳然たる事実ですので、その点に触れているということです。</p>

会長	<p>府営水の受水費や量については緩和措置があったものの、それを考慮してもなお経営は厳しく、「料金見直しは避けられない」というように、町民感情云々と書くよりシンプルに変えた方が分かりやすいと思います。</p> <p>そして、(1) 上水道の料金見直しと (2) 净水場の話は、内容は関連しますが項目は分けたままでいいでしょう。(1) には先ほどの改定率などを入れればボリュームも調整できるかと思います。</p> <p>順番については、喫緊度から言って、一番上に下水道を持ってくるのが良いと思います。次に上水道の値上げ、そして 3 番目に浄水場の建て替えとすれば、浄水場の問題もポジション的に落ち着く感じがします。そうすれば、浄水場の項目を最後に「町民感情に配慮し、親水公園のような代替策とセットで検討すべき」と締めると、綺麗にまとまるのではないかでしょうか。やはり、一番喫緊の課題を最初に持ってくるのが良いと思います。</p>
委員	7 ページの水道料金の改定で、③に資産維持費があり、④に水道料金の改定になっています。これは、この順番でいいのでしょうか？
会長	資産維持費の導入と料金改定は、本来はそれぞれ独立してできるものです。ただ今回は、資産維持費も導入し、それをベースに料金改定を行うということなので、付帯意見としては、最終的な結論である「水道料金の改定」が後ろに来た方がまだ良いのかな、と。資産維持費の話が最後に来ると、それが結論みたいになりかねませんので。
副会長	<p>赤字の解消策として③資産維持費が入っていますが、そこにちょっと違和感がありました。私のイメージでは、資産維持費は将来の更新などに備えて貯めていくものだと思っていたので。</p> <p>書き方は難しいのですが、資産維持費は赤字とは違う意味で、将来の設備更新や物価上昇に備えて今から導入が必要だ、というような書き方に変えてもいいのかな、と思いました。</p>
会長	収支改善策としてしか、入れるところがないんじゃないでしょうか。

事務局	<p>委員と副会長のお話ですが、資産維持費と料金改定の関係は過去の審議会でも議論があった部分です。ご指摘の通り、資産維持費は本来インフレや将来の投資に備えるもので、料金改定は経費の負担をお願いする部分ですので、その関係の整理は難しいところです。</p> <p>ただ、結果的に資産維持費が収支改善につながるため、収支改善施策の一つとして挙げており、答申案でもそのような記述になっております。本来の意味合いについては重々承知しておりますので、書きぶりは検討させていただきたいと思います。</p>
会長	<p>巡り巡って収支ギャップの赤字解消になるということですね。ただ、「収支ギャップ赤字解消」と書くと、今の赤字なのか将来にわたる赤字なのかが分かりにくいです。</p> <p>多分、将来続していく赤字を解消するという話で、将来のインフレ等に対応する資産維持費を反映させると、巡り巡って間接的に効いてくる、ということでここに入っているのかなと。繋がりは分かりにくいですが、他に書くところがないでしょうね。</p>
委員	<p>12ページの「付帯意見」というタイトルについてですが、会長からは「コアな部分」と説明を受けたので、重要なところという認識です。ただ、私のイメージでは「付帯意見」というと、留意してほしい事柄を付け加えるようなものなので、タイトルとして妥当なのか、ずっと腑に落ちない感じで聞いていました。</p> <p>これまでの課題整理や分析の流れからすると、最後に重要な部分を「提言」としてまとめる方がしっくりくるのかなと。この「付帯意見」という位置付けがまだピンと来ておらず、タイトルと内容の整合性に違和感がある、ということを意見としてお伝えします。</p>
委員	<p>今おっしゃったところはよく分かります。例えば答申では、「〇%の改定が必要だ」という結論に対し、「ただし、何かに配慮しなさい」といった部分が付帯意見になることが多いです。そういう意味では、今回のこの付帯意見が一番の結論なのであれば、確かに若干違和感があるところかもしれません。</p>

会長	<p>答申書全体の論調として、前半の赤字収支ギャップの解消のところなどでは、「～べきである」という強い表現が結構使われていますね。</p> <p>そこで強く書いておきながら付帯意見で弱く書くよりは、今回は前半を少し具体性を持たさずに書き、付帯意見の方で具体性を持たせる形になっているので、タイトルは「提言」でもいいかもしれませんね。</p> <p>では、最終的に書面審査で確認するということでおろしいでしょうか。2時間にわたる長時間の議論ありがとうございました。</p>
事務局	<p>皆様長時間に渡る審議、お疲れ様でした。最後に事務局から第8回の審議会の日程について説明させていただきます。次回第8回が最後の審議会になる予定で調整させていただいておりますが、前述させていただいた通り、次回は書面開催の方を予定しておりますので、本日審議いただきました経営戦略案及び答申案の修正のしたものとの承認を求める予定でございます。</p> <p>改めて書面開催については事務局より案内をさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。委員の皆様、本日は公私ともになにかと、ご多忙なところご出席いただきましてありがとうございました。これをもちまして、第7回大山崎町上下水道事業審議会を閉会いたします。誠にありがとうございました。お疲れ様でした。</p>

※ 発言者について、会長・副会長以外は委員と表記しています。

3. その他 なし
4. 閉会（省略）